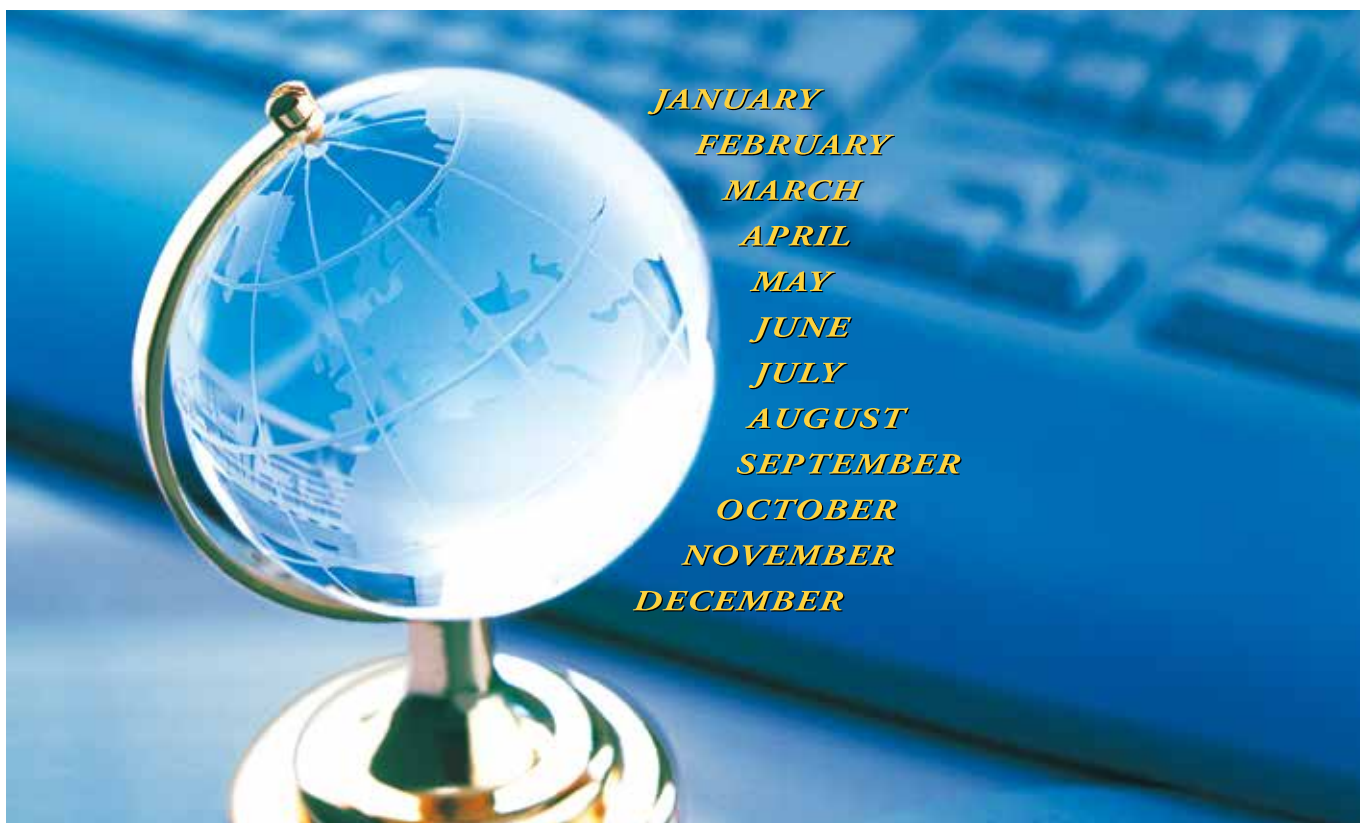


# 三菱UFJ 外国債券オープン (毎月分配型)

追加型投信 / 海外 / 債券 / インデックス型



## ■三菱UFJ銀行からのご留意事項

◎投資信託は、預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。 ◎投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、価格変動リスク等があり、お受取金額が投資元本を大きく下回ることがあります。したがって投資元本および運用成果が保証されているものではありません。 ◎ご購入に際しては、購入時手数料(ご購入代金に応じて、最高1.08%(税込))および保有期間中の運用管理費用(信託報酬)等の費用がかかります。 ◎ご購入に際しては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」により商品内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。投資信託説明書(交付目論見書)は、三菱UFJ銀行の本・支店までご請求ください。

## ■お申込み・販売会社は



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号  
加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当行の苦情処理措置および紛争解決措置は  
一般社団法人全国銀行協会または特定非営利活動法人証券  
金融商品あっせん相談センターを利用します。  
全国銀行協会相談室 0570-017109 / 03-5252-3772  
証券・金融商品あっせん相談センター 0120-64-5005  
受付時間：月～金曜日 / 9:00～17:00 (祝日・12/31～1/3等を除く)

## ■設定・運用は



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

## ファンドの目的

日本を除く世界主要国の国債等(投資適格債)を主要投資対象とし、日本を除く世界主要国の国債の指標であるFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の動きを概ね捉えつつ、毎月分配を行うことをめざします。



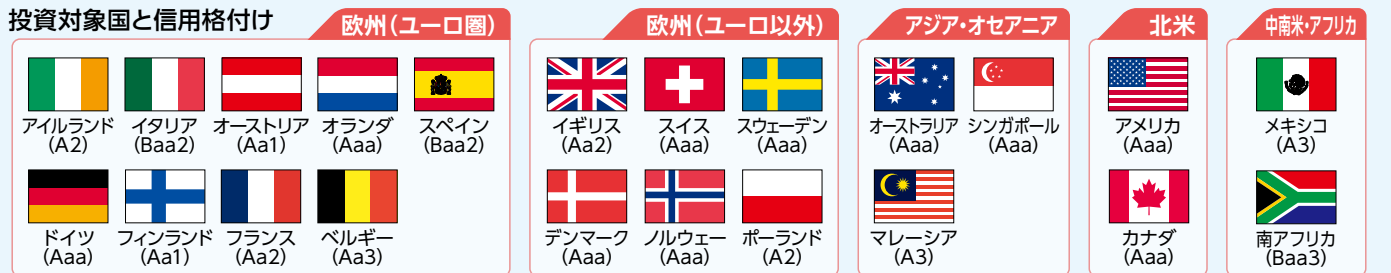
### 日本を除く世界主要国の国債等(投資適格債)を主要投資対象とします。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)<sup>\*1</sup>をベンチマーク<sup>\*2</sup>とし、当該指数の動きを概ね捉えることをめざして運用を行います。

<sup>\*1</sup> FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。当該指数は、以下の22カ国で構成されています(2018年1月末現在)。ただし、構成国は変わる可能性があります。

<sup>\*2</sup> ベンチマークとは、ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標です。

#### 投資対象国と信用格付け

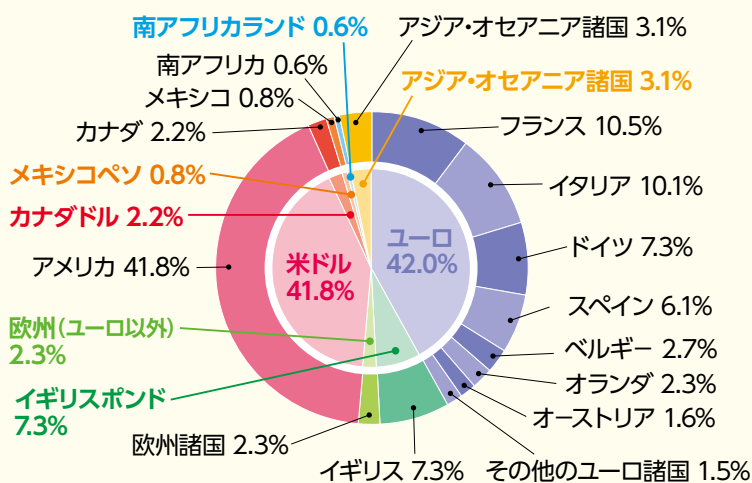


格付けは2018年1月末現在のMoody'sの国債の自国通貨建長期信用格付けです。なお、上記はMoody'sの信用格付けであり、他の信用格付会社の信用格付けは上記と異なる場合があります。長期信用格付けとは、債券の中長期的な元本・利息の支払いの確実性の度合いについてランク付けしたものです。これは、アルファベットを使った簡単な記号で表現されており、世界各国、産業別の債券について比較しやすいため、広く利用されています。今後、各国の政治経済環境により格付けは変更されることがあります。

当ファンドの投資対象の中には、一般には「新興国」とも分類され得る国の国債等も一部含まれており、それらについては先進国よりも信用リスク等が大きくなる可能性があります。

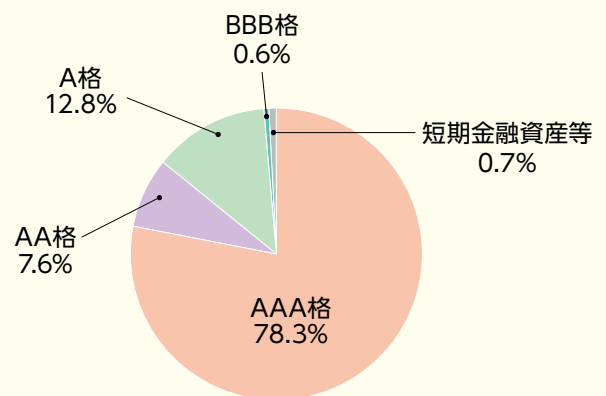
#### 世界の通貨に投資

通貨別・国別投資比率 (2018年1月31日現在)



#### 信用力の高い国債に投資

格付け別投資比率 (2018年1月31日現在)



(出所) 三菱UFJ国際投信作成

通貨別・国別投資比率は現物債券評価額に対する割合(なお、純資産総額に対する現物債券組入比率は99.3%)、格付け別投資比率は純資産総額に対する割合です。原則として、個別銘柄格付けを採用しておりますが、例外的に国債、地方債、ならびに政府保証のある債券などについては、三菱UFJ国際投信の分類基準に基づいて、ソブリン格付け(国の発行体格付け)を採用しているものがあります。格付け別投資比率は格付投資情報センター(R&I)、日本格付研究所(JCR)、S&P、Moody'sのうち最も高い格付けを表示しています。

四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。



### 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。ただし、市況動向<sup>\*3</sup>の判断により、為替ヘッジを行う場合があります。<sup>\*3</sup> 市況動向とは、天災地変・テロ・戦争等による市場の急変時等を想定しています。



### 毎月の分配をめざします。

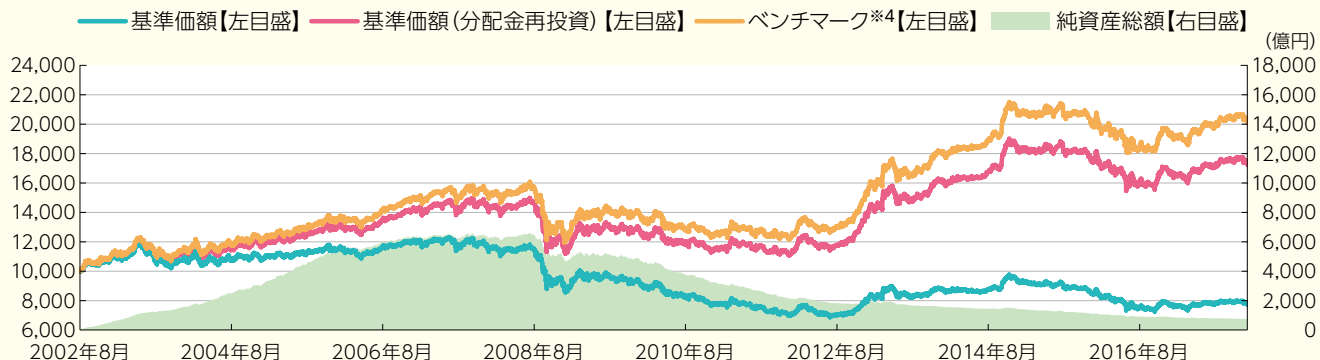
毎月17日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、利息・配当収益を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案したうえで分配を行います。分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

(主な投資制限) ・外貨建資産への投資割合に制限を設けません。 ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ファンドのリスクについては、「投資リスク」をご参照ください。

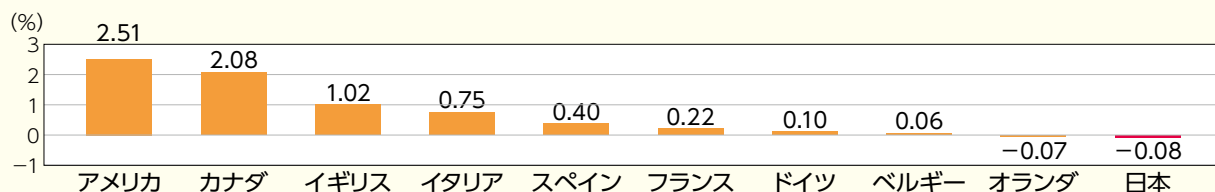
**ファンドの運用実績** (期間: 2002年8月29日～2018年1月31日) 最新の運用実績は委託会社のホームページ等にてご確認ください。



設定来の分配金累計(税引前) (2018年1月31日現在)	<b>7,410円</b>	基準価額 (2018年1月31日現在)	<b>7,734円</b>	基準価額(分配金再投資) (2018年1月31日現在)	<b>17,243円</b>
2002年11月～2003年5月	<b>25円</b>	2003年6月～2003年8月	<b>30円</b>	2003年9月～2004年2月	<b>35円</b>
2004年3月～2005年7月	<b>37円</b>	2005年8月～2006年2月	<b>40円</b>	2006年3月～2006年11月	<b>42円</b>
2006年12月～2015年7月	<b>47円</b>	2015年8月～2016年11月	<b>30円</b>	2016年12月～2018年1月	<b>20円</b>

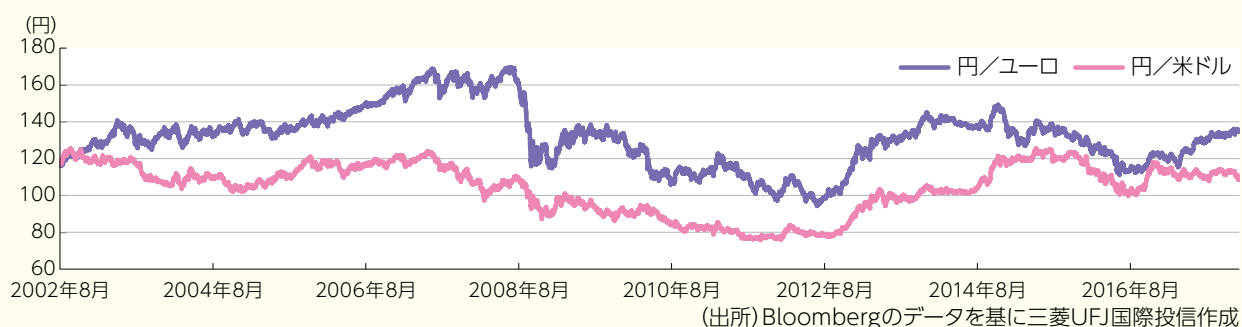
※4 ファンドのベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)です。(出所)三菱UFJ国際投信作成  
 基準価額、基準価額(分配金再投資)、ベンチマークは設定日(2002年8月29日)を10,000として指数化しています。基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。  
 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。なお、分配金は1万口当たり、税引前の値です。

**ご参考 5年国債利回り** (2018年1月31日現在)



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成  
 各資産は為替やその他の特性を考慮しておらず、利回りだけで単純に比較できるものではありません。

**ご参考 為替レートの推移** (期間: 2002年8月29日～2018年1月31日)



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

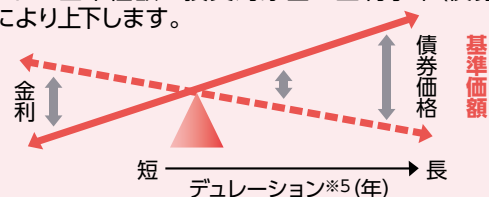
上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

**主な投資リスク**

ファンドは、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク等を伴うため、基準価額が下落し損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。くわしくは「投資リスク」をご参照ください。

**金利(価格)変動リスク 金利変動の影響(イメージ図)**

ファンドの基準価額は投資対象国の金利水準(債券価格)の変動により上下します。



※5 デレージョンとは、債券の投資元本の回収に要する平均残存期間や金利感応度を意味する指標です。この値が大きいくほど、金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。

**為替変動リスク 為替変動の影響(イメージ図)**

ファンドは、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ファンドの基準価額は投資対象通貨の為替変動により上下します。



# 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

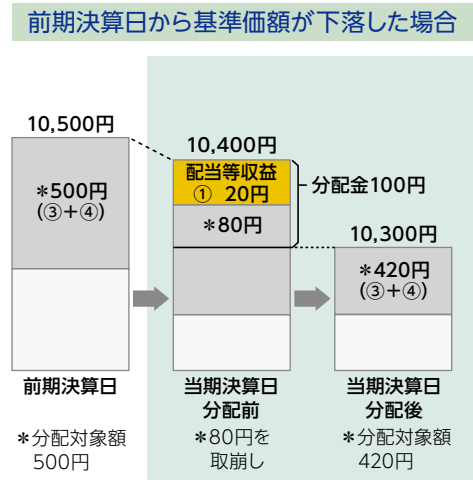
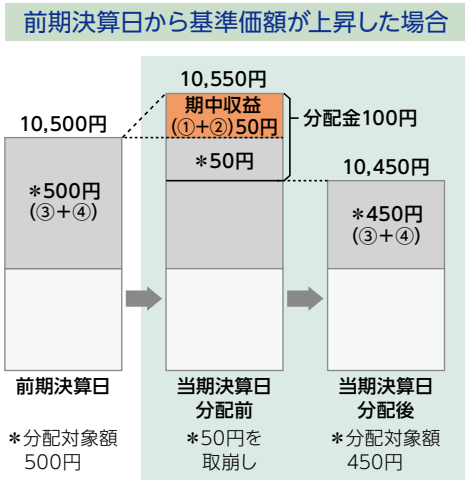
## 投資信託から分配金が支払われるイメージ



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

## 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



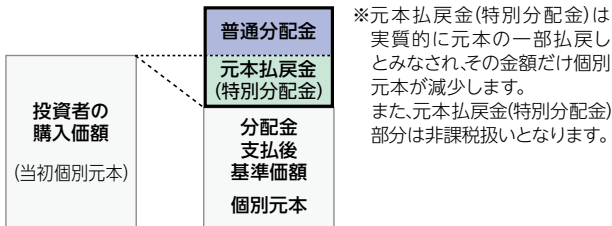
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

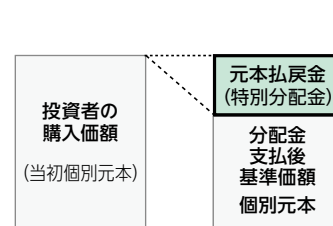
収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

## 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



## 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

# 購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

## [金額を指定して購入する場合]

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

## [口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくこととなります。

# 投資リスク

## ■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

### 価格変動リスク

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

### 為替変動リスク

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

### 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

### 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

- その他の留意点 | ● ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- リスクの管理体制 | ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。また、定期的開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

# 三菱UFJ 外国債券オープン(毎月分配型)

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

※三菱UFJ銀行でお申込みの場合

## お申込みメモ

購入時	<b>購入単位</b> 分配金再投資コース(累積投資コース):1万円以上1円単位 購入単位には購入時手数料(税込)が含まれます。 くわしくは、三菱UFJ銀行のホームページをご覧ください。
	<b>購入価額</b> 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。
換金時	<b>換金単位</b> 1万円以上1円単位、または1万口以上1口単位、または全部。
	<b>換金価額</b> 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
	<b>換金代金</b> 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込について	<b>申込締切時間</b> 原則として、午後3時までに受け付けたものを当日の申込分とします。
	<b>換金制限</b> ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
	<b>購入・換金申込受付の中止および取消し</b> 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することがあります。
その他	<b>信託期間</b> 無期限(2002年8月29日設定)
	<b>繰上償還</b> 受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
	<b>決算日</b> 毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
	<b>収益分配</b> 毎月の決算時に分配を行います。 ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少および基準価額の下落要因となります。 収益分配金は税金を差引いた後、原則として再投資されます。 ※分配金を再投資せず、お客様の指定口座にご入金するお取扱いを希望される場合は、分配金出金(定期引出契約)をお申込みください。
	<b>課税関係</b> 課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

## ファンドの費用

◎お客様が直接的に負担する費用

購入時	<b>購入時手数料</b>	購入金額(購入価額×購入口数)×手数料率で得た額 手数料率は、購入代金(購入金額+購入時手数料(税込))に応じて以下の率とします。					
		<table><thead><tr><th>購入代金</th><th>手数料率</th></tr></thead><tbody><tr><td>1億円未満</td><td>1.08% (税抜 1%)</td></tr><tr><td>1億円以上</td><td>0.54% (税抜 0.5%)</td></tr></tbody></table> ※インターネット取引でご購入の場合は、上記手数料率から10%優遇。	購入代金	手数料率	1億円未満	1.08% (税抜 1%)	1億円以上
購入代金	手数料率						
1億円未満	1.08% (税抜 1%)						
1億円以上	0.54% (税抜 0.5%)						
換金時	<b>信託財産留保額</b>	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%をかけた額					

◎お客様が信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	<b>運用管理費用(信託報酬)</b>	日々の純資産総額に対して、 <b>年率1.08%(税抜年率1%)</b> をかけた額
	<b>その他の費用・手数料</b>	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

**お客様専用フリーダイヤル 0120-151034**  
(受付時間/営業日の9:00~17:00)  
●ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)

株式会社三菱UFJ銀行 他

販売会社は、上記の三菱UFJ国際投信の照会先でご確認いただけます。

## 本資料に関してご留意いただきたい事項

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した販売用資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。